

株主メモ

事 業 年 度 每年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会 每年6月開催
基 準 日 定時株主総会 每年3月31日
期末配当金 每年3月31日
中間配当金 每年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して
定めた日
単 元 株 式 数 100株
株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関
住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
■ 特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替
機構)を利用されていなかった株主様には、株主名
簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口
座(特別口座といいます)を開設いたしました。特別
口座についてのご照会および住所変更等のお届出
は、上記の電話照会先にお願いいたします。
公 告 方 法 当社のホームページに掲載する
<http://www.daidoh-limited.com/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたと
きは、日本経済新聞に掲載する方法により行う
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
名古屋証券取引所市場第一部



DAÏDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

経営管理室
〒101-8619
東京都千代田区外神田三丁目1番16号
TEL.03-3257-5024 FAX.03-3257-5051



株主の皆様へ

第89期 中間(第2四半期)報告書

2011年4月1日から2011年9月30日まで

証券コード 3205



DAÏDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

<http://www.daidoh-limited.com/>



「グローバル企業への進化」と「付加価値の拡大」を 推し進め、さらなる経営効率化を図ります。



代表取締役社長



代表取締役副社長

伊藤 兼幸

川瀬 達彦

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは厳しい事業環境に対応するための業務改革と、グローバル企業としての躍進を目指した取り組みを推し進めております。当社の基本理念である「お客様第一」「品質本位」を基に、当社グループの強みを活かして「モノづくりを基盤に生きる」ことで成長を目指してまいります。

当第2四半期累計期間の連結業績は、営業損失・経常損失とも減少することができ、これまで進めてまいりました事業効率化の成果が見えてきております。

当社グループの一層の躍進を実現し、株主の皆様のご期待に添えるよう全力を尽くす所存でございますので、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期累計期間の営業概況

当第2四半期累計期間の事業環境は、震災の影響による経済活動の停滞から一部には回復が見られたものの、円高や株価の低迷などにより国内景気と個人消費は不透明な状況で推移いたしました。

衣料品業界につきましては、節電対応によるクールビズ導入の広がりによる需要がありましたが、景気や雇用情勢の先行き不安などから、消費マインドの改善にはいたらず引き続き厳しい状況にあります。

このような環境のなか、当第2四半期累計期間における当社グループの連結業績は、前年同期比で売上高が11.3%増、営業損失は前年同期から1億50百万円の改善を果たし49百万円の計上となりました。

中期経営計画の進捗状況

当期は、各種業務の効率化のための「業務改革」の一環として構築してきた新システムを本格導入いたします。このシステムを活用して、中国内および日中間の製造から販売までの業務の効率化・省力化を実行し、収益性の改善を図ります。



「グローバル企業への進化」を目指した取り組みでは、高品質な素材を活用した衣料製品の販売を強化しております。中国内では、上海においてオーダースーツのファクトリーブランド「ミリオンクラブ」の店舗展開を開始し、拡充を進めております。

当社グループが今後も存続し、存在価値・意義のある企業であり続けるために、「モノづくりを基盤に生きる」という決意と方向性を定めました。

中国の工場群で製造した世界最高品質のテラードスーツを世界に提供し、「中国品質のイメージチェンジ」に貢献したいと考えております。

また、日本で誕生し成長した「ニューヨーカー」についても、ブランドのスタイルを確立して、中国内でのさらなる拡大を目指してまいります。

現在の厳しい事業環境下で成長するために、グループ内にクロス・ファンクション・チームを発足させました。国を超えて、ブランドの枠を超えて、製造・販売・管理等の部門の枠を超えて活動し、成果を挙げることを目指してまいります。

今後も中長期の視点を持った経営を重視し、信頼を高められるよう、企業価値の向上を図ってまいります。

事業コラボレーション

NEWYORKER × EDWIN



ニューヨーカーのジャケットとの相性も抜群なジーンズを、エドワインとのコラボにより展開しております。

エドワインとニューヨーカーのコラボレーションにより、デニムパンツとチノパンツをニューヨーカーで展開しております。もちろん、ビジネスシーンに対応したニューヨーカーのジャケットとの相性も十分に考慮されております。

デニムパンツは、オリジナルの革パッチなどがポイント。デニムブランドならではの高い技術力を生かしたヴィンテージ加工を施し、自然な色落ちに仕上がっています。ウエスト裏にはオリジナルハウスターのラインを入れ、遊びを加えています。

チノクロスパンツは、ベージュとネイビー2色を品揃えしております。

ライセンスビジネスの拡大

ニューヨーカーのブランドスタイルの確立とファン層拡大に向けて、ファッショングoods・小物の品揃えを拡充しております。

ニューヨーカーでは、ブランドの世界観の基本として「ハウスター」を印象的に使用する統一的な展開を推し進めておりますが、トータルな世界観を独自のブランドスタイルとして確立し、より力強くお客様に提案していくことを目指して、ファッショングoods・小物の展開を強化しております。

この2011-2012秋冬コレクションから、メンズとウイメンズの両方で、ファッショングoods・小物の品揃えを拡充しております。

商品としては、ビジネスシーンに対応した商品をメインとし、ネクタイ、革小物、バッグなどで、ニューヨーカーの品質へのこだわりをそのままに、ライセンサーで製造した新商品の提案を進めてまいります。



中国事業展開

新たに、ミリオンクラブ3号店と4号店がオープンいたしました。

4号店



3号店



4号店となる「800秀店」は、工場跡地の再開発が進行中の一角に位置します。商業地域と住宅街が交錯したエリアで、これからの発展が期待される立地。



“URBAN COUNTRY” & “RADICAL CLASSIC”

Women's Autumn & Winter Collection

厳かで上品なのにちょっと華やかで女性らしい。クラシックを現代的なシルエットにリファインし、軽く柔らかくアレンジしたスタイルに、今シーズン注目のボルドーカラーをのせて魅力的に映す。2011年秋冬コレクションでは、まるで映画の1コマのようなクラシックな装いを「私らしく楽しむ」、「新しいクラシックへのいざない」をご提案いたします。

ニューヨーカーオリジナル素材を使用しております。ニットやジャージー素材も数多く提案し、クラシックな表情に軽やかさと柔らかさを加えております。

普遍的で懐かしく、多くは飾らないがどこか違う。そんな洗練された機能美とゆとりを感じさせるデザインで、喧騒と静寂の間をいつも身近に感じるライフスタイルを表現いたしました。

今シーズンは、ウール100%こだわり天然素材の特性を利用したニューヨーカーオリジナル“コンフレックスストレッチ”や、モヘヤの持つ独特なハリ感とフランネらしい起毛が独特な風合いを持つ“モヘヤフランネル”がスーツとして登場。このほか、機能素材を重視したナノシールド撥水のウールコート、ウォームビズを意識した蓄熱機能糸使用のボトムスやシャツなどもお楽しみいただけます。

Autumn & Winter Collection **Men's**

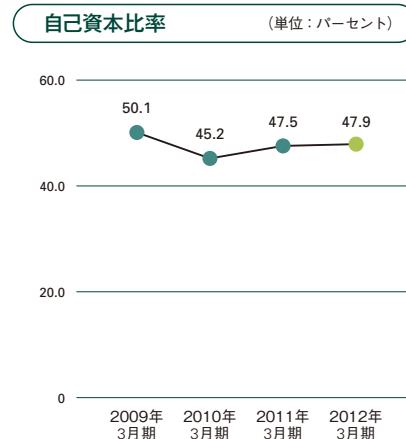
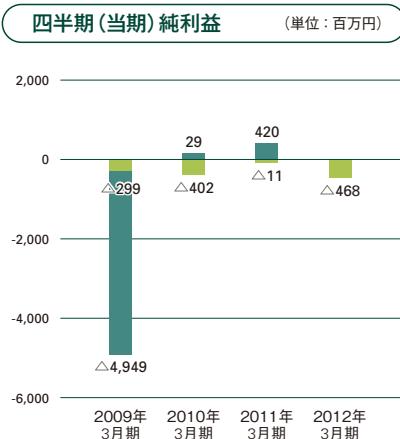
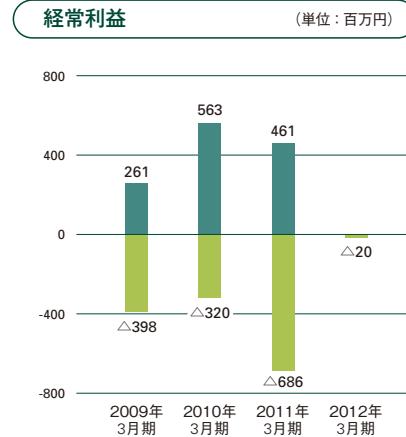
| 5 |

| 6 |

連結財務ハイライト

(特に記載のない限り2011年9月30日現在の状況です。)

■ 通期 ■ 第2四半期



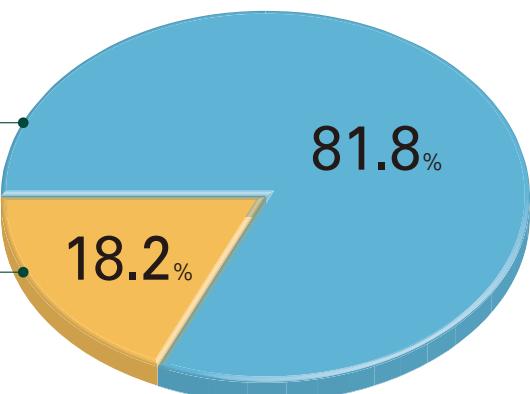
事業別営業概況(連結)

衣料事業
原材料(織物・糸)の販売は、原料価格高騰と製品価格低下の傾向が続いており、収益は低調に推移いたしました。

衣料品販売は、節電対応によるクールビズ導入の広がりによる需要もあり、夏物を中心に売上を延ばし、売上高は紳士・婦人服とも前年同四半期

を上回ることができました。また、OEM(相手先ブランドによる製造卸)は順調に推移し、売上高が前年同四半期比で増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における衣料事業の売上高は111億40百万円、営業損失は7億47百万円となりました。



小田原商業施設のSCにおいては、節電への対応に努めながら運営を行い、売上は概ね堅調に推移いたしました。オフィス賃貸につきましては非常に厳しい環境下にあり、賃料の改定等もあり売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、売上高は24億80百万円、セグメント利益は5億75百万円となりました。

(注) 売上高構成比は、セグメント間の内部売上高を含む金額で算出しております(合計額136億20百万円を分母として算出)。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

流動資産

たな卸資産が増加した一方で、現金及び預金が減少したことなどから、流動資産は前期末比25億円減少し127億27百万円となりました。

固定資産

無形固定資産が増加した一方で、減価償却による有形固定資産の減少、投資有価証券の減少などによる投資その他の資産の減少により、固定資産は前期末比14億41百万円減少し344億82百万円となりました。

資産合計

流動資産・固定資産ともに減少したことから、総資産は前期末比39億42百万円減少し472億10百万円となりました。

	前第2四半期 連結会計期間末 2010年9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2011年9月30日現在	前連結会計 年度末 2011年3月31日現在	前第2四半期 連結会計期間末 2010年9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2011年9月30日現在	前連結会計 年度末 2011年3月31日現在
資産の部						
● 流動資産						
現金及び預金	17,589	12,727	15,228	7,966	2,286	5,540
受取手形及び売掛金	2,374	3,138	3,141			
有価証券	999	—	—			
たな卸資産	4,807	5,798	4,724			
その他	1,504	1,563	1,884			
貸倒引当金	△ 62	△ 60	△ 62			
● 固定資産	37,726	34,482	35,924			
有形固定資産	15,083	13,512	14,078			
無形固定資産	458	916	771			
投資その他の資産	22,184	20,053	21,075			
投資有価証券	18,751	17,438	18,574			
その他	3,662	2,831	2,718			
貸倒引当金	△ 229	△ 215	△ 217			
● 資産合計	55,315	47,210	51,153			
負債の部						
● 流動負債						
支払手形及び買掛金	12,059	9,171	10,524	2,082	1,573	2,089
短期借入金	5,727	3,830	3,830	1,000	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	—					
その他	3,248	2,768	3,602			
● 固定負債	17,876	15,208	16,143			
長期借入金	7,500	6,500	7,000			
長期預り保証金	8,543	7,278	7,643			
その他	1,832	1,430	1,499			
● 負債合計	29,936	24,380	26,667			
純資産の部						
株主資本	25,776	24,264	25,531			
資本金	6,891	6,891	6,891			
資本剰余金	8,696	8,687	8,689			
利益剰余金	13,717	12,182	13,453			
自己株式	△ 3,528	△ 3,497	△ 3,503			
● その他の包括利益累計額	△ 618	△ 1,648	△ 1,251			
その他有価証券評価差額金	△ 718	△ 1,466	△ 999			
為替換算調整勘定	99	△ 181	△ 251			
新株予約権	137	130	120			
少数株主持分	83	84	83			
● 純資産合計	25,378	22,830	24,485			
● 負債純資産合計	55,315	47,210	51,153			

有利子負債

長期借入金が前期末比5億円減少したことから、当第2四半期末の有利子負債残高は前期末比5億円減少し113億30百万円となりました。この結果、有利子負債比率は49.6%と非常に安全性の高い水準を確保しております(前期末は48.3%)。

*有利子負債比率(%) = 有利子負債 ÷ 自己資本 × 100

負債合計

支払手形及び買掛金、長期借入金が減少したことから、負債合計は前期末比22億87百万円減少し243億80百万円となりました。

純資産合計

利益剰余金、その他有価証券評価差額金が減少したことなどから、純資産合計は前期末比16億55百万円減少し228億30百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、借入金返済等による負債の減少もあり、前期末比0.4ポイント向上し47.9%となりました。

四半期連結財務諸表

グループ編成

四半期連結損益計算書(要旨)

単位：百万円

	前第2四半期 連結会計期間 2010年4月1日～ 2010年9月30日	当第2四半期 連結会計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日	前連結会計年度 2010年4月1日～ 2011年3月31日
--	--	--	-------------------------------------

売上高	12,114	13,486	26,668
売上原価	5,884	7,157	12,865
売上総利益	6,230	6,328	13,802
販売費及び一般管理費	6,429	6,378	13,075
営業利益又は営業損失(△)	△ 199	△ 49	727
営業外収益	399	431	779
営業外費用	886	402	1,045
経常利益又は経常損失(△)	△ 686	△ 20	461
特別利益	39	16	47
特別損失	733	35	897
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 1,380	△ 39	△ 388
法人税、住民税及び事業税	20	28	203
法人税等調整額	△ 1,383	401	△ 1,001
法人税等合計	△ 1,362	429	△ 797
少数株主損益調整前四半期 純利益又は損失(△)	△ 18	△ 469	409
少数株主損失	△ 6	△ 0	△ 10
当期純利益又は四半期純損失(△)	△ 11	△ 468	420

売上高

売上高は前年同期比11.3%増の134億86百万円となりました。これは主に、衣料品販売部門において紳士・婦人服ともに前年同期を上回ったこと、OEMによる製造卸が順調に推移したことによるものです。

売上総利益

売上総利益は、OEM製造卸の売上増により前年同期比4.5ポイント低下し46.9%となったものの、額については98百万円の増加となりました。

営業損失

営業利益は、前年同期の1億99百万円の損失から、当第2四半期累計期間は49百万円の損失となり1億50百万円改善することができました。これは主に、売上総利益額が増加したこと、販売費及び一般管理費の削減に努めたことなどによります。

四半期純損失

四半期純損失は、前年同期の11百万円に対し、当第2四半期累計期間は4億68百万円となりました。これは主に、持分法適用関係会社の株式の一部譲渡により、関係会社株式売却益13百万円を特別利益として計上した一方で、2億5百万円の税負担があったことなどによります。

事業活動と 主要なグループ会社



当社グループの連結子会社は13社、持分法適用関連会社は1社あり、取り扱い品目や顧客は各社により異なっておりますが、グループを通して『お客様第一』『品質本位』の基本を共有して事業運営に当たっております。

衣料事業

製 造 大同利美特(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) CO., LTD.)

大同佳樂登(馬鞍山)有限公司
(DAIDOH JARDIN (MAANSHAN) CO., LTD.)

大同利美特時裝(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED CLOTHING (SHANGHAI) CO., LTD.)

大同利美特染整(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED DYEING & FINISHING (SHANGHAI) CO., LTD.)

NEWYORKER

Brooks Brothers

株式会社ニューヨーカー
上海纽约克服装销售有限公司
(SHANGHAI NEWYOKER CLOTHING SALES CO., LTD.)

愛雅仕商貿(北京)有限公司
(ARNYS TRADING (BEIJING) CO., LTD.)

株式会社ダイドーアンターナショナル

大同利美特商貿(上海)有限公司
(DAIDOH INTERNATIONAL (SHANGHAI) CO., LTD.)

* 2011年6月1日付けで、芭貝(上海)毛線編結有限公司から社名変更いたしました。

* 株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン

貿 易 大同利美特貿易(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.)

* =持分法適用関連会社

不動産賃貸事業

株式会社ダイナシティ

Dynacity

統括及び管理会社

大同利美特(上海)管理有限公司
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) MANAGEMENT CO., LTD.)

大都利美特(中国)投資有限公司
(DAIDOH LIMITED (CHINA) HOLDINGS CO., LTD.)

(特に記載のない限り2011年9月30日現在の状況です。)

会社情報

(特に記載のない限り2011年9月30日現在の状況です。)

会社概要

■ 株式会社 ダイドーリミテッド DAIDOH LIMITED

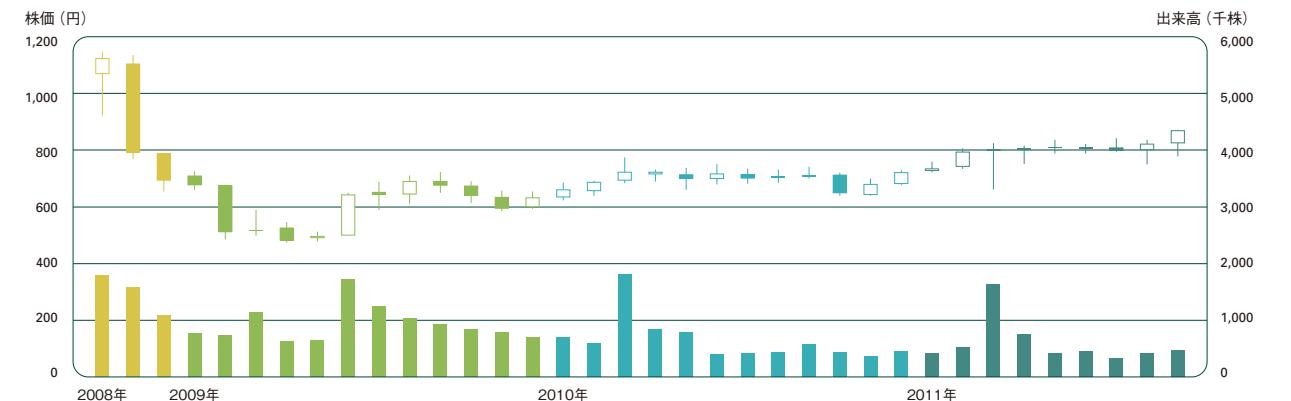
創業 1879年(明治12年)1月
設立 1949年(昭和24年)10月17日
資本金 6,891,851,938円

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	田口正幸
代表取締役副社長	川西靖彦
取締役	安江恵
取締役上席執行役員	和賀勇
取締役上席執行役員	大川伸
取締役執行役員	村尾勤
取締役執行役員	戸澤かない
監査役(常勤)	林玄
監査役(弁護士)	田口哲朗
監査役(弁護士)	武田昌邦

(注) 田口哲朗、武田昌邦の両氏は、社外監査役であります。

■ 株価の推移グラフ



株式関連情報

株式の状況

■ 発行可能株式総数 150,000,000株

■ 発行済株式の総数(自己株式を含む) 37,696,897株

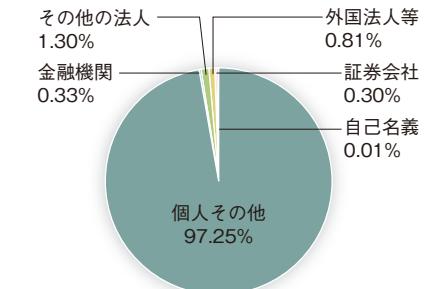
■ 株主数 8,760名
(前期末 11,101名)

■ 大株主

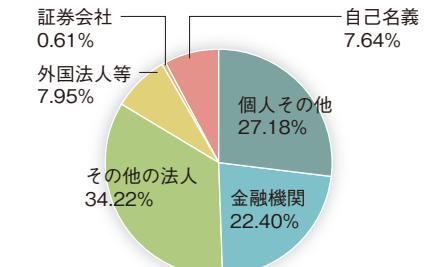
株主名	所有株式数(百株)
株式会社オンワードホールディングス	76,000
三井住友海上火災保険株式会社	18,457
株式会社ソニー	12,500
JP MORGAN CHASE BANK 380084	11,970
住友信託銀行株式会社	11,340
株式会社みずほコーポレート銀行	11,283
明治安田生命保険相互会社	9,310

(注) 当社所有の自己株式(3,212,453株)は、上記大株主からは除外しております。

■ 所有者別株主数分布



■ 所有者別株式数分布



*本報告書に記載されている計画、戦略などは、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んでおります。